



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔米国基準〕(連結)

平成25年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ワコールホールディングス

コード番号 3591 URL <http://www.wacoalholdings.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚本 能交

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 大谷 郁夫

TEL 075-682-1010

四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	47,961	10.6	5,038	27.9	5,575	42.2	3,570	29.7
25年3月期第1四半期	43,362	1.1	3,939	△2.8	3,921	△12.3	2,752	△1.3

(注) 四半期包括利益 26年3月期第1四半期 8,013百万円 (455.7%) 25年3月期第1四半期 1,442百万円 (△58.4%)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	25.35	25.30
25年3月期第1四半期	19.54	19.51

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	255,957	192,027	189,787	74.1	1,347.50
25年3月期	253,803	188,004	185,840	73.2	1,319.47

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	28.00	28.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	28.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	97,000	6.7	8,550	0.3	8,550	1.1	5,200	0.8	36.92
通期	192,000	8.4	11,500	42.0	12,000	13.8	8,000	4.9	56.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	143,378,085 株	25年3月期	143,378,085 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	2,534,599 株	25年3月期	2,533,728 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	140,844,045 株	25年3月期1Q	140,849,379 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々なリスクや不確実性、その他の要因により、本資料の予想と大きく異なる結果となる可能性があります。これらのリスクや不確実性、その他の要因は以下のものを含みますが、これらに限られるものではありません。

- ・経済環境の悪化により国内市場及び海外市場の景気が低迷し当社の業績が悪化するリスク
- ・国内の百貨店、量販店及びその他一般小売店の業績不振や営業政策の変更によって当社が影響を受けるリスク
- ・消費者の嗜好を的確に予測しそれに応える能力及び高品質な商品を提供する能力が期待される成果を生み出さないリスク
- ・激しい市場競争により当社の販売シェアや利益率が低下するリスク
- ・直営店事業ネットワークの拡大が売上や利益の拡大につながらないリスク
- ・WEB販売の強化による売上増加が達成できないリスク
- ・販売不振による在庫の増加が業績を悪化させるリスク
- ・コスト削減が成功せず利益が減少するリスク
- ・有能な人材確保ができず人材が不足するリスク
- ・季節の天候不順の影響により業績が悪化するリスク
- ・海外事業に関連して増加するリスク
- ・買収及びその他第三者との戦略的提携等の成否に関するリスク
- ・新市場の開拓における投資の回収に関するリスク
- ・知的財産権に関連するリスク
- ・個人情報保護や当社の機密保持に関するリスク
- ・内部統制に関連するリスク
- ・有価証券に関連するリスク
- ・自然災害、疫病の発生等に関するリスク

これらの詳細については、当社の有価証券報告書をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する説明	P. 2
(2) 連結財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 5
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用	P. 5
(3) 会計方針の変更	P. 5
3. 四半期連結財務諸表	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書	P. 8
(3) 四半期連結包括損益計算書	P. 8
(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(セグメント情報等)	P. 10
(6) 販売の状況	P. 12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

①当第 1 四半期の業績概況

当社グループでは新たな3カ年中期経営計画(2013~2015年度)がスタートし、主力事業会社である株式会社ワコールを中心に、多様化する国内レディスインナー市場への対応による売上シェアの拡大と、レディスインナー事業以外の体制整備、また海外事業の積極的な展開による成長力強化に取り組みました。

これらの結果、当社グループの当第 1 四半期の連結業績は、主に米国事業において売上が伸長したことや、昨年4月に子会社化したワコールイヴィデンの業績が加わったことなどにより、全体の売上高は前年同期を上回りました。利益面では、ワコールイヴィデンの新規連結分に加え、株式会社ワコールにおいて売上利益が増加したことなどにより前年同期を上回りました。

●売上高	479億61百万円	(前年同期比	10.6%増)
●営業利益	50億38百万円	(前年同期比	27.9%増)
●税引前四半期純利益	55億75百万円	(前年同期比	42.2%増)
●当社株主に帰属する四半期純利益	35億70百万円	(前年同期比	29.7%増)

②オペレーティング・セグメントの営業概況

a. ワコール事業(国内)

株式会社ワコールのワコールブランド事業本部につきましては、天候不順の影響などにより4月、5月の売上は苦戦しました。6月は夏物ブラジャーや肌着が好調に推移し、売上が回復しました。ボトムは、スタイルサイエンス商品群が低調に推移しましたが、一部の機能性アイテムは消費者の支持を得ました。一方ショーツはTVCM放映の効果もあり、順調に売上を伸ばしました。これらの結果、ワコールブランド事業本部全体の売上は計画通り推移したものの、店頭の商品入替え時期を変更したことにより返品が一時的に増加したため前年同期は下回りました。

ウイングブランド事業本部につきましては、主力アイテムのブラジャーは「からだのエイジング」に基づいた商品が好調に推移したことや、大手得意先との協働商品の展開店舗数が拡大したことなどにより、好調に推移しました。

また、メンズインナーはシーズン商品が苦戦し前年を下回りました。店頭売上は総じて順調に推移したものの、返品増加により、ウイングブランド事業本部全体の売上は前年同期を下回りました。

小売事業本部につきましては、直営店「AMPHI(アンフィ)」やアウトレットモールで展開する「ワコールファクトリーストア」は、展開店舗数が増加したことや既存店舗が順調に推移したことにより、売上を伸ばしました。これらの結果、小売事業本部全体の売上は前年同期を上回りました。

ウエルネス事業部につきましては、スポーツコンディショニングウェア「CW-X(シーダブリューエックス)」ブランドは、スポーツタイツがテレビ番組で紹介された影響や、大手医薬品メーカーとの共同開発商品が好調に推移したことなどにより、売上を伸ばしました。一方、フットアイテムは競合他社の影響を受け、苦戦しました。これらの結果、ウエルネス事業部全体の売上は前年同期並みとなりました。

通信販売事業部につきましては、インターネット販売は大きく売上を伸ばしましたが、カタログ販売は天候不順の影響などにより伸び悩み、全体の売上は前年同期を下回りました。

このように、主力事業会社ワコールの売上が前年を下回ったことにより、ワコール事業(国内)セグメント全体の売上は前年同期を下回りました。利益面につきましては、株式会社ワコールにおいて、高利益率商品の売上比率が高まったことなどによる売上利益の増加や、経費の抑制によって営業利益は前年同期を上回りました。

●売上高	292億25百万円	(前年同期比	1.0%減)
●営業利益	33億10百万円	(前年同期比	30.5%増)

b. ワコール事業 (海外)

米国ワコールは主力販売チャネルである百貨店を中心にシェアの向上や、販売地域、チャネルの拡大に積極的に取り組みました。売上面では、為替の影響に加え、主力アイテムのブラジャーが好調に推移したことや、インターネット販売、カナダ事業が伸長したことにより前年同期を上回りました。また、利益面では売上の増加に伴い、営業利益は前年同期を上回りました。なお、当期における米ドルの為替換算レートは98円(前年同期79円)となっております。

中国ワコールにつきましては、収益性の改善や、中間層市場への浸透に取り組みました。売上につきましては、販売力の向上や、顧客に対する販促策の効果などにより、前年同期を上回りました。また、中間層市場に向けたファッションブルで価格競争力のある新ブランド『LA ROSABELLE (ラ・ロッサベル)』は、百貨店への出店も開始し堅調に推移しました。利益面では売上の増加に加え原価低減が奏功し、前年同期を上回りました。

ワコールイヴィデンにつきましては、グループとのシナジー発揮による売上の拡大と収益力向上に取り組みました。北米では取引先の拡大や、各ブランドのシェア向上などにより順調に売上を伸ばしました。また、英国でも市場地位を維持しています。一方、EU圏諸国は引き続き景気低迷や天候不順の影響を受け、春夏商品が苦戦しました。その結果、全体の売上は計画を下回りました。利益面では、経費の抑制により売上利益の減少分を補完したものの、持株会社清算費用等を計上したため計画を下回りました。

なお、当セグメントの売上高、営業利益が大幅に増加していますが、ワコールイヴィデンの実績が前期は第2四半期から連結されていることによります。また、当期より同社はその他セグメントから、当セグメントへ変更しています。

●売上高	115億63百万円	(前年同期比	84.9%増)
●営業利益	16億74百万円	(前年同期比	82.8%増)

c. ピーチ・ジョン事業

主力の通販カタログは、4月、5月発行分が新規顧客を獲得できず苦戦したものの、6月に実施したブラジャー、ショーツのセット販売などの販促策が奏功し、前年を上回りました。国内直営店は、店舗の販売フォロー体制を強化した結果、1店舗あたりの売上が増加し、堅調に推移しました。また、海外直営店につきましては、香港の売上は売れ筋商品の品揃えが充実したことなどにより前年を上回りましたが、中国の直営店は苦戦しました。これらの結果、ピーチ・ジョン事業セグメント全体の売上は前年同期並みとなりました。利益面では、為替の影響を受け原価率が上昇し、前年同期を下回りました。

●売上高	30億70百万円	(前年同期比	2.8%減)
●営業利益	80百万円	(前年同期比	54.5%減)

d. その他

株式会社ルシアンにつきましては、主力のインナーウェアを展開するインナー事業部は、大手得意先への納品が低調に推移したことや、アウターウェアを展開するアパレル事業部において、GMSチャネルでの売上が落ち込んだことなどにより、ルシアン全体の売上は前年同期を下回りました。利益面については、為替の影響を受け原価率が上昇し、営業損失となりました。

マネキンの製造販売やレンタル、商業施設の設計や施工を行う株式会社七彩につきましては、物販事業が受注の増加により売上を伸ばしましたが、工事業は物件が第2四半期へ移行した影響等により苦戦し、売上は前年同期を下回りました。これに伴い、利益も前年同期を下回りました。

●売上高	41億3百万円	(前年同期比	7.6%減)
●営業損失	26百万円	(前年同期は営業利益	3億11百万円)

(2) 連結財政状態に関する説明

①資産、負債、株主資本等の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、投資有価証券評価額の増加などにより、前連結会計年度末に比して21億54百万円増加し、2,559億57百万円となりました。

負債の部は、未払金の減少、夏季賞与の支払による未払賞与の減少や、法人税等の支払による未払税金の減少などにより、前連結会計年度末に比して18億69百万円減少し、639億30百万円となりました。

株主資本は、為替換算調整勘定や未実現有価証券評価損益の増加などにより、前連結会計年度末に比して39億47百万円増加し、1,897億87百万円となりました。

以上の結果により、当第1四半期連結会計期間末における株主資本比率は、前連結会計年度末に比して0.9%増加し、74.1%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比して10億47百万円減少し、238億13百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、四半期純利益36億48百万円に減価償却費や繰延税金などによる調整を加えた金額に対して、資産及び負債の増減などによる調整を行った結果、16億94百万円の支出(前年同期に比し41億59百万円の支出増)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の売却及び償還収入や投資の売却収入などにより、40億12百万円の収入(前年同期に比し219億68百万円の収入増)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払などにより、36億80百万円の支出(前年同期に比し96億19百万円の支出増)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想数値につきましては、平成25年5月14日発表時から変更はありません。

国内事業におきましては、拡大余地のあるエリアや価格帯、年齢層にアプローチし、売上シェアの拡大を図るとともに、レディスインナー事業以外のウエルネス事業やメンズインナー事業についても新たな売上の柱とすべく体制整備を図ります。

海外事業におきましては、ワコールイヴィデンを中心とした欧州事業の基盤整備と市場地位の確立に取り組むと同時に、引き続き米州の新規事業開拓、中国の収益性改善を推進します。また、各子会社間のグループシナジー発揮による売上拡大を図ります。

グループ全体としましては、アジア各国の賃金や物価の上昇、また円安の進行に対応し、原価の維持低減を図るために、ASEAN地域を中心に低コスト生産体制を整備、強化します。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

科 目	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)	増減金額
(資産の部)	百万円	百万円	百万円
I. 流動資産			
現金及び現金同等物	24,860	23,813	△ 1,047
定期預金	1,914	1,571	△ 343
有価証券	4,601	3,974	△ 627
売掛債権	23,443	24,926	1,483
返品調整引当金及び貸倒引当金	△ 1,872	△ 2,238	△ 366
たな卸資産	37,807	39,788	1,981
繰延税金資産	4,821	4,349	△ 472
その他の流動資産	7,644	5,306	△ 2,338
流動資産合計	103,218	101,489	△ 1,729
II. 有形固定資産			
土地	21,945	21,968	23
建物及び構築物	61,455	62,080	625
機械装置及び工具器具備品等	15,076	15,455	379
建設仮勘定	136	136	0
	98,612	99,639	1,027
減価償却累計額	△ 48,952	△ 49,929	△ 977
有形固定資産合計	49,660	49,710	50
III. その他の資産			
関連会社投資	17,599	18,399	800
投資	42,368	44,819	2,451
のれん	20,148	20,443	295
その他の無形固定資産	12,817	12,833	16
繰延税金資産	1,085	1,134	49
その他	6,908	7,130	222
その他の資産合計	100,925	104,758	3,833
資産合計	253,803	255,957	2,154

科 目	前連結会計年度	当第1四半期連結会計期間	増減金額
	(平成25年3月31日)	(平成25年6月30日)	
(負債の部)	百万円	百万円	百万円
I. 流動負債			
短期借入金	16,259	16,887	628
買掛債務			
支払手形	1,442	1,683	241
買掛金	10,859	10,769	△ 90
未払金	6,069	4,958	△ 1,111
	18,370	17,410	△ 960
未払給料及び賞与	6,897	5,588	△ 1,309
未払税金	4,479	1,713	△ 2,766
その他の流動負債	4,605	6,458	1,853
流動負債合計	50,610	48,056	△ 2,554
II. 固定負債			
退職給付引当金	1,802	1,792	△ 10
繰延税金負債	10,181	11,246	1,065
その他の固定負債	3,206	2,836	△ 370
固定負債合計	15,189	15,874	685
負債合計	65,799	63,930	△ 1,869
(資本の部)			
I. 資本金	13,260	13,260	—
II. 資本剰余金	29,514	29,524	10
III. 利益剰余金	145,049	144,675	△ 374
IV. その他の包括損益累計額			
為替換算調整勘定	△ 6,473	△ 3,773	2,700
未実現有価証券評価損益	9,310	10,865	1,555
年金債務調整勘定	△ 1,928	△ 1,871	57
V. 自己株式	△ 2,892	△ 2,893	△ 1
株主資本合計	185,840	189,787	3,947
VI. 非支配持分	2,164	2,240	76
資本合計	188,004	192,027	4,023
負債及び資本合計	253,803	255,957	2,154

(2) 四半期連結損益計算書

科 目	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)		増減金額
	百万円	%	百万円	%	
I. 売上高	43,362	100.0	47,961	100.0	4,599
II. 営業費用					
売上原価	19,881	45.8	21,288	44.4	1,407
販売費及び一般管理費	19,542	45.1	21,635	45.1	2,093
営業費用合計	39,423	90.9	42,923	89.5	3,500
営業利益	3,939	9.1	5,038	10.5	1,099
III. その他の収益・費用(△)					
受取利息	46		20		△ 26
支払利息	△ 32		△ 32		0
受取配当金	399		437		38
有価証券・投資有価証券売却 及び交換損益(純額)	△ 9		36		45
有価証券・投資有価証券 評価損益(純額)	△ 64		△ 48		16
その他の損益(純額)	△ 358		124		482
その他の収益・費用合計	△ 18	△ 0.1	537	1.1	555
税引前四半期純利益	3,921	9.0	5,575	11.6	1,654
法人税等	1,749	4.0	2,230	4.6	481
持分法による投資損益調整前 四半期純利益	2,172	5.0	3,345	7.0	1,173
持分法による投資損益	641	1.5	303	0.6	△ 338
四半期純利益	2,813	6.5	3,648	7.6	835
非支配持分帰属損益	△ 61	△ 0.2	△ 78	△ 0.2	△ 17
当社株主に帰属する四半期純利益	2,752	6.3	3,570	7.4	818

(3) 四半期連結包括損益計算書

科 目	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)		増減金額
	百万円		百万円		
I. 四半期純利益	2,813		3,648		835
II. その他の包括損益 －税効果調整後					
為替換算調整勘定	110		2,753		2,643
未実現有価証券評価損益	△ 1,593		1,555		3,148
年金債務調整勘定	112		57		△ 55
その他の包括損益 合計	△ 1,371		4,365		5,736
四半期包括損益	1,442		8,013		6,571
非支配持分帰属四半期包括損益	△ 92		△ 131		△ 39
当社株主に帰属する四半期包括損益	1,350		7,882		6,532

(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間
	(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
	百万円	百万円
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー		
1. 四半期純利益	2,813	3,648
2. 営業活動によるキャッシュ・フローへの調整		
(1)減価償却費	1,082	1,251
(2)返品調整引当金及び貸倒引当金	548	338
(3)繰延税金	519	476
(4)有形固定資産除売却損益	6	0
(5)有価証券・投資有価証券売却及び交換損益	9	△ 36
(6)有価証券・投資有価証券評価損益	64	48
(7)持分法による投資損益(受取配当金控除後)	△ 120	338
(8)資産及び負債の増減		
売掛債権の増加	△ 14	△ 1,199
たな卸資産の減少(△増加)	140	△ 1,339
その他の流動資産等の増加	△ 950	△ 1,365
買掛債務の減少	△ 1,945	△ 1,123
退職給付引当金の減少	△ 265	△ 217
その他の負債等の増加(△減少)	30	△ 2,536
(9)その他	548	22
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,465	△ 1,694
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー		
1. 定期預金の増加額	△ 120	△ 73
2. 定期預金の減少額	413	500
3. 有価証券の売却及び償還収入	281	932
4. 有価証券の取得	△ 158	△ 103
5. 有形固定資産の売却収入	15	13
6. 有形固定資産の取得	△ 323	△ 541
7. 無形固定資産の取得	△ 184	△ 243
8. 投資の売却収入	82	3,775
9. 投資の取得	△ 1,058	△ 251
10. 子会社取得による支出(取得した現金との純額)	△ 16,906	—
11. その他	2	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 17,956	4,012
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー		
1. 短期借入金の純増加額	12,063	568
2. 長期債務による調達	500	—
3. 長期債務の返済	△ 2,608	△ 248
4. 自己株式の取得	△ 3	△ 1
5. 自己株式の売却	0	—
6. 当社株主への配当金支払額	△ 3,944	△ 3,944
7. 非支配持分への配当金支払額	△ 69	△ 55
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,939	△ 3,680
IV. 為替変動による現金及び現金同等物への影響額	△ 140	315
V. 現金及び現金同等物の増減額	△ 9,692	△ 1,047
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	29,985	24,860
VII. 現金及び現金同等物の四半期末残高	20,293	23,813

補足情報

現金支払額		
利息	30	31
法人税等	2,168	5,214
現金支出を伴わない投資活動		
固定資産の取得価額	313	438

(5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

① オペレーティング・セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(単位:百万円)

	ワコール事業 (国内)	ワコール事業 (海外)	ピーチ・ジョン 事業	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	29,508	6,254	3,158	4,442	43,362	—	43,362
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	549	1,840	53	1,392	3,834	△ 3,834	—
計	30,057	8,094	3,211	5,834	47,196	△ 3,834	43,362
営業利益	2,536	916	176	311	3,939	—	3,939

当第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(単位:百万円)

	ワコール事業 (国内)	ワコール事業 (海外)	ピーチ・ジョン 事業	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	29,225	11,563	3,070	4,103	47,961	—	47,961
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	511	2,040	114	1,339	4,004	△ 4,004	—
計	29,736	13,603	3,184	5,442	51,965	△ 4,004	47,961
営業利益(△損失)	3,310	1,674	80	△ 26	5,038	—	5,038

(注) 1. 各事業の主な製品

- ワコール事業(国内) … インナーウェア(ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー)、アウターウェア、スポーツウェア、レッグニット他
- ワコール事業(海外) … インナーウェア(ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー)、アウターウェア、スポーツウェア、レッグニット他
- ピーチ・ジョン事業 … インナーウェア(ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー)、アウターウェア、その他繊維関連商品他
- その他 … インナーウェア(ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー)、アウターウェア、その他繊維関連商品、マメキン人形、店舗設計・施工他

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結累計期間より、一部の報告セグメントについて社内組織をベースとした内部報告セグメントに基づいたものに変更しております。この変更に伴い、従来「その他」セグメントに含めていたワコールイヴィデンを「ワコール事業(海外)」セグメントへ含めております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントに基づき作成したものを開示しております。

② 地域別情報

前第1四半期連結累計期間(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(単位:百万円)

	日本	アジア	欧米	連結
外部顧客に対する売上高	36,902	3,052	3,408	43,362
構成比	85.1%	7.0%	7.9%	100.0%
営業利益	3,077	309	553	3,939

当第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(単位:百万円)

	日本	アジア オセアニア	欧米	連結
外部顧客に対する売上高	36,256	3,882	7,823	47,961
構成比	75.6%	8.1%	16.3%	100.0%
営業利益	3,354	331	1,353	5,038

(注) 1. 国又は地域の区分の方法は地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

アジア・オセアニア: 東アジア、東南アジア及び西アジア諸国、オーストラリア

欧米: 北米及びヨーロッパ諸国

3. 売上高は連結会社を所在地別に分類したものであります。

(6) 販売の状況

製品の種類		前第1四半期 自平成24年4月1日 至平成24年6月30日		当第1四半期 自平成25年4月1日 至平成25年6月30日		増減	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
インナーウェア	ファンデーション ・ランジェリー	百万円 31,814	% 73.4	百万円 36,011	% 75.1	百万円 4,197	% 13.2
	ナイトウェア	2,647	6.1	2,587	5.4	△60	△2.3
	リトルインナー	495	1.1	490	1.0	△5	△1.0
	計	34,956	80.6	39,088	81.5	4,132	11.8
アウターウェア ・スポーツウェア等		3,749	8.7	4,047	8.4	298	7.9
レッグニット		444	1.0	465	1.0	21	4.7
その他繊維製品 及び関連製品		1,926	4.4	2,223	4.6	297	15.4
その他		2,287	5.3	2,138	4.5	△149	△6.5
合計		43,362	100.0	47,961	100.0	4,599	10.6